

# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

令和という新しい元号のもと、町民の皆様におかれましてはさすが新しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新たに即位された天皇陛下への献上茶謹製という栄誉を賜ることができました。記念すべき年の献上は大きな注目を集め、川根茶の存在感を示すことができたと確信しております。

また、かねてより建設を進めていた伝統文化伝承館「時愛（ときあ）」が3月に完成し、9月には同施設において「伝統文化交流会」を開催いたしました。

害予測の重要性と難しさについて考えさせられることとなりました。幸いなことに本町では目立った被害はありませんでしたが、今後も町民の皆様の生命財産を守ることができるよう、より一層の注意と備えが必要であると感じたところです。

さらに、町民の方が心配されているJR東海のリニア中央新幹線工事については、予測される環境への影響がいまだに不明瞭であるなど、予断を許さない状況が続いております。環境資源は一度失えば取り戻すことができません。今後の動向に細心の注意を払いながら静岡県および周辺市町と連携して対応していきたくと考えております。

結びに、本年も町民の皆様から町政全般への温かいご支援と一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

当施設は貴重な伝統文化を絶やす

ことなく伝承者を養成すること、地域での伝承への機運を醸成することを目的に建設したもので、今回の交流会のみならず、練習や交流会などで活用いただくことで、多くの町民の皆様が伝統文化について考える機会を持ってもらう拠点として活用してまいります。

川根高校の魅力化についてもさまざまな取り組みを展開していきながら、その取り組みが全国的に周知され、本年度からは県外からの留学生も誕生しました。

現在はおよそ半数が町外からの生徒とのことですが、地元の生徒たちとの交流をとおり、お互いに高め合

いながらこの地域への新たな風を吹

き込んでくれるだけでなく、卒業後には本町の応援団となってくれらることを期待し、魅力あふれる高校になれるよう地域全体で取り組みを進められればと考えております。

そのほか、新たに2つのサテライトオフィスが開設されたほか、既存オフィスの事業拡大が行われるなど、都市部からの企業進出や事業拡大の流れも見えてきており、さらなる企業誘致と産業の活性化への呼び水となってくれることを期待いたします。

一方全国では、昨年の9月と10月に立て続けに襲来した台風が深刻な風水害をもたらし、自然の驚異と災

町民に笑顔と活力があふれ

ふるさとのことを誇りに思う

「心がふれあう感動のまちづくり」

皆様とともに進めてまいります



川根本町長

鈴木敏夫